

「子どもを 5000 円で育てられますか？」 貧困で苦しむひとり親の低すぎる給付を増額してください！

ひとり親家庭では、1人の親が家計を支えるために一生懸命働き、そして同時に家事、育児を担わなければならないので、福祉でそれを支えることは大変重要ですが、現状の児童扶養手当制度には、「子どもの数が増えると生活が破綻しやすくなる」という欠陥があります。

実際の生活を考えると、子どもが増えるほど、やらなければならない家事や育児が増えます。子どもが1人増える毎に、本来なら仕事の時間を減らして子育てをしたいのに、2人目以降の児童扶養手当の額があまりにも少なすぎるために、逆に働く時間を増やさなければ生きてゆけないという、非常に矛盾した制度設計となっています。ひとり親家庭で多子の場合、経済的貧困に加えて、時間的貧困にも陥いるのです。

その結果、子どもにちゃんとご飯を食べさせようと仕事時間を増やせば「必然的ネグレクト状態」になり、仕事も家事育児もきちんとやろうとすると、病気になってしまいます。

キッズドアの無料学習会の保護者の中には、白血病や癌などの重い病気を抱えている方もいらっしゃいました。本当に疲労困憊の方が多いです

また、そのようなひとり親を心配して、自分の希望する進路をあきらめる子どもたちもたくさん見てきました。

成績が優秀なのに大学進学をあきらめて商業高校に進む子、私立高校には行けないからと自分の実力よりずっと下の公立高校を受験する子も多いです。さらにそんな子が合格した後で「俺の行く高校は大学進学率も低いし、俺の人生はもう終わった」とつぶやくのを聞いた時には、やりきれない気持ちになったと、学生ボランティアから聞いたこともあります。

現実社会では、子ども二人目からは、スーパーの買い物 3 割引とか、家賃半額というような、子どもが増えることによるボリュームディスカウントはほとんどありません。それなのに、ひとり親家庭を支える児童扶養手当は、なんと子ども 2 人目には約 8 分の 1、3 人目以降は 14 分の 1 と大きく減ってしまうのです。

少子化が重要な社会課題となっている日本で、社会にもっとも貢献している多子の家庭がこのような困窮状態に陥ってしまう現状を変えなければなりません。

児童扶養手当の複数子加算を、早急に増額してください。

KIDS' DOOR
NPO法人 キッズドア

特定非営利活動法人 キッズドア

〒104-0033 東京都中央区新川 2-1-11 八重洲第一パークビル7階

Tel : 03-5244-9990 Fax : 03-5244-9991 E-mail : info@kidsdoor.net

Web : <http://www.kidsdoor.net/>

子どもの人数が増えると家事・育児が増える その結果、就労所得は減る

家族形態	サンプル数	平均就労収入 (万円)	1人あたり 就労収入 (万円)
子ども1人	8	166	83
子ども2人※1 (不就労世帯含む)	5 (9)	242 (134)	81 (45)
子ども3人	2	133	33
子ども4人	2	175	35
子ども5人	1	75	13

■母子家庭の世帯人数別就労収入状況(NPO法人キッズドア調べ)
低所得世帯の中学生向け高校受験対策講座[タダゼミ]受講(2011年) サンプル数18
※1 さまざま理由(障害のある兄弟がいる、失業中など)で不就労世帯(収入0) 4世帯

無料学習会に通う生徒の状況

- 「本当は大学に行きたいけれど、兄が大学に行くから、私は大学に行くのは無理。働いて家計を助けないと」(高校1年)
- 「私立高校には絶対行けないから、都立高校1本で受験。失敗できないから、偏差値マイナス5の学校を選ぶ」(中学3年)
- やる気はあるけれど、下の子の世話をしなければならぬので、宿題を出しても、家で勉強できない。(中学3年)